



清 泉

令和7年9月26日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

この情報社会に読書は必要なのか！？ ～読書が私たちにもたらしてくれるもの～

「夏休みと言えば『読書感想文』」という話題は過去のようにです。私は本を読むのが大っ嫌いで今でも覚えているのが中1の夏休み。部活動から帰ってきて「今日こそは！」と夏目漱石の「坊ちゃん」を開く。そして何ページも読まないうちに昼寝が始まる。何日これを繰り返したのか（事実です）。

当時の私は、「読書は体質的に無理」と思っていました。さらには読書好きの母親は私に本を読ませようとあの手この手でチャレンジし失敗し続け、最後に文句を言いながら諦めたと記憶しています。でも不思議なもので今は「本屋さん」が大好きになりました。

情報収集はインターネットやテレビでもできますが、なぜ「読書」が求められるのでしょうか。

【学研オンエアで紹介されている7つの読書の効果】

- ① 会話力や文章力の向上 ② ボキャブラリーが増える ③ 教養や知識が身につく
- ④ 想像力が豊かになる ⑤ アイデアが得られる ⑥ いろいろな話題を話せる ⑦ ストレス解消

私なりにこの効果を読み、2つのキーワード「人間関係」と「スキル」にたどり着きました。人間関係を成立させるとき「行間から読み取る」ことが求められませんか？ 忖度という意味ではありません。人は往々にして自分の経験や価値観で話を伝え、そして人の話を受け止めているように感じます。だからこそ、「相手は何が言いたいのか」考え、「どのように伝えたら分かってもらえるのか」意識することが必要ではないでしょうか。読書がその一助となると思うのです。

ではここで、7月の学校だよりから

6月30日（月）の全校朝礼 校長からの課題

◇昨年度から校内に掲示してあるポスター。あなたの考えや思いを教えてください。

手をあげて、「じぶんはこう思う」をみんなに言うたび、しんぞうがバクバクした。

ただどなぜか、チャットやネットへのかきこみはスラスラできてしまう。

校長室前ポストに投函されたみなさんの意見を紹介します

- 顔が見えない相手だと何でも言えるけど相手の顔を見ると言えない人が多いのかな？
- みんなに見られているとみんなに監視されている感じがして勇気が出ない。
- 見られていないと“素”の自分が見えちゃうんだと思った。
- 顔が見られていれば否定される可能性もあるが、見られていなければ否定されることはない。
- 考えが自分だけ違っていただけを恐れてしまう。みんなの視線って意外と怖いよね……（泣）
- 思っているのが自分だけだったらどーしよ（泣）
- 目を見て話をしていないから！
- 相手と意見が違うかもと思っているか
- 「かもしれない」と考えているから。
- （学校はまちがえる所だと思う！！）緊張している、みんなの目が怖い、自分の意見が言えない
- 学校は全然間違えていいし、間違えてみんなで楽しんで学ぶ所！ネットは逆に顔が見えなくて怖い！！
- ネットだと人の顔が実際に見えないからネットだと簡単に言えてしまう
- （一）視線がこわい、注意されているから、何か言われるのがこわい
- （十）自信をもつ、勇気を出す、みんなが意見を聞いてくれる環境をつくる

生徒たちはポスターの限られたフレーズからどのような場面かイメージ（想像）し、自らの考えや思い、そしてこれからの行動などを文章に表してくれました。この真剣な生徒の考えを学校の環境づくりに生かしていきます。あわせて、生徒たちを取り巻くみなさまと「読書」をはじめ「言語、ことば」について考えていきたいです。そして、大人も生徒も「読書の効果⑦」を少し意識していけたらと思うのです。